

場程の選定には・・・

作業場所の高さが15mの場合、最大地上高15mのSK-150を選びがちです。しかしながら、15m付近での作業範囲図を比べると、作業半径がほとんどありません。このような場合、1ランク上のSK-210を選択すれば、作業高さ15m付近の作業半径は約9mもあり、車軸を移動せずに自由に作業を行うことができます。

機種を選定には・・・

- 広い作業範囲が必要な工事には・・・

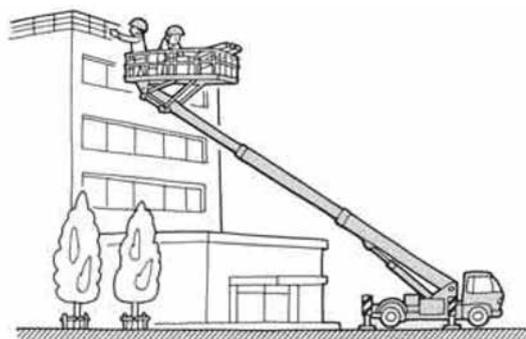
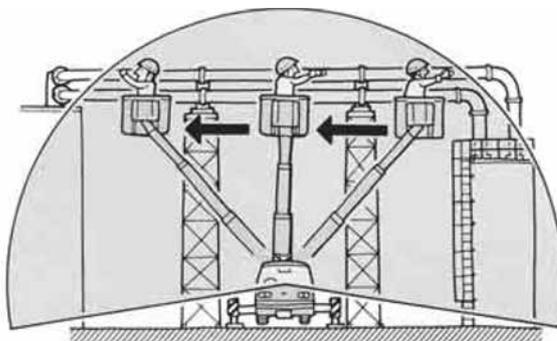
直伸式・屈伸式スカイマスター

高所を移動しながら連続した作業が必要な配管・ガス系統の点検・塗装作業、作業位置の下に障害物がある場所での工事、また道路や歩道をまたいでの工事には、高所での作業範囲の広い直伸式スカイマスターを選定します。

- 軒先や障害物の多い場所で大量の資材や作業員を搭載して工事するには・・・

重荷重式スカイマスター

大量の資材や工具類を積み込んで加工しながら作業したいが、障害物が多く、目標地点に近づけないような現場では、重荷重式スカイマスターが機動力を発揮します。



高所作業車 作業上の注意点

